

おけうり

令和4年6月1日（水）第5号（発行者：校長・大木 淳）

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)



<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。

雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ…

桶売探検 第1弾

”ピザ窯で「手作りピザ」を作ろう”

5月27日（金）に予定しておりました「桶売探検」ですが、強い雨と風のため、鬼ヶ城山の登山は来週へ延期いたしました。昼食の際に予定していた「ピザづくり」は、屋根のあるところでできるので、そちらは予定通りに実施いたしました。

ピザづくりは、まず「土台」となる生地を作るところから始まります。最初にぬるま湯、ドライイースト、砂糖を混ぜて、少しずつ強力粉を加えていきます。手につかなくなるまで根気よく捏ね、ラップをかけて発酵させました。

ピザ職人たちは、ある程度生地が伸びてくるとくるくると回して、その遠心力を使ってさらに伸ばしていきます。それはできませんので、のし棒で広げていきました。

あとはお楽しみのトッピングです。生地にトマトピューレを塗って、その上に好きなピーマンをはじめ、ソーセージやトマトを乗せました。最後に、溶けるチーズでまんべなくちりばめました。まん丸のピザではなく、ティアドロップ（なみだ）のような形でした。



いよいよ、窯（かま）で焼いていきます。ボートのオールくらいの専用へらを使って、具材を乗せた生地を窯の中に運びます。簡単そうに見えますが、これがなかなか手強くて、自分が置きたい場所にするっといかないのです。さすが給食担当の佐藤先生は、1回で意図するところに生地を乗せました。

ところでピザを焼く窯は、全体を温めておく必要があるため、到着する前から火を入れていたそうです。よい香りがするためなのか、桜の木を使っているそうです。

風雨が最高潮に達しようとしている頃、ピザのおいしそうな匂いが広がってきました。釜から出したばかりの焼き上がったピザは、どれも「すぐにかじりつきたい」と思わせます。

等分に切り分けて、待ちに待った食事の時間です。鬼ヶ城の皆さん、たいへんお世話になりました。



早朝よりお世話になりました

— PTA奉仕活動 —

5月28日（土）午前7時より、プール清掃と学校校地内の草刈りを行いました。当初プール清掃のみを行う予定でしたが、中学校の校長先生と高崎先生のご助力により、作業するところが劇的に少なくなりました。そのため、学校アプローチ部分（西側斜面）の除草を手始めに草刈りを行うことができるようになりました。当日は、この春に卒業した宇佐見さんの保護者様にもお手伝いいただいたので、あっという間にきれいになりました。



プールでは、小中学校で東西に分かれて、プールの中心に向かってデッキブラシをかけていきました。高圧洗浄機を使いながら、プールに付いた汚れを落としていきます。児童生徒の皆さんも、保護者の方とともに一生懸命、作業に取り組んでいました。おかげさまで、プールもすっかりきれいになり、水泳学習も予定通りに開始できそうです。たいへん、ありがとうございました。



追）具体的な活動や日程について、中学校の松本先生が詳細に作成してくださいました。忙しい中、ありがとうございました。



心に花を咲かせよう！

人権 花いっぱい運動に参加しました



6年生の社会では、政治や経済について触れる学習があります。最初に学習するのは、憲法の3つの柱についてです。ご存じのとおり、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義（戦争放棄）です。

基本的人権とは、人が生まれながらにして持つ権利のことであり、平等権・自由権・社会権・請求権・参政権が保証されているということです。

社会問題となっているいじめについては、基本的人権を大きく毀損するもので、ぜったいに許すことができない行為、としてとらえております。美しい花を植え、その生長を愛でることを通して、人としてあるべき姿を振り返り、やってはならないことには毅然として立ち向かう心を育てていくことを目標にしています。



今、SDGs（持続可能な開発目標）、Well-being（幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態）が叫ばれておりますが、まずは隣人に優しい人になってほしいです。

プランターに植える際に、教頭先生と会田さんにお手伝いをいただきました。